核融合実践演習　ディスカッションまとめレポート

37236510　道家友香

テーマ：理系の大学入試に古文漢文を課すべきか否か

背景：工学部電気電子工学科の友人の多くは古文漢文を毛嫌いし、入試を理系科目だけで良いと考える人が多いと常々感じていましたが、文科省の教育制度が変更され、「高校国語の新しい学習指導要領(2022~)での古文・漢文の占める比重減」というニュースを見て、日本の教育制度自体が、古文漢文を軽視し、コミュニケーションスキルや読解力など「実用」重視の方向にシフトしていることを知った。昔から古文漢文を読むのが好きな自分は衝撃をうけ、いろいろなバックグラウンドを持つ核融合実践演習受講者の皆さんに意見を聞きたいと思った。

結論：3グループとも古文漢文は必要という意見になった。

理由(グループ１)：理系科目のみを課すと理系科目だけ得意な人のみが集まってしまうので、読解力、表現力を測る国語の試験を課すことで、理系の能力だけでなく文系の能力のある人を入学させることができるから。

(グループ2)：本望の理系の勉強時間が減ってしまうものの古文漢文を勉強することは無駄ではない。古文漢文は人生を送る上での教訓を含むため、生きていく上での参考になるため。また古文漢文の文法を学ぶことは外国語を習得するための土台にできるうえに、豊かな教養を得られるため。

(グループ3)：

入試にすることで真に古文漢文を楽しめなくなってしまうというデメリットがあるが、古文漢文を学ぶ機会を全員が得られ、自国の文化を知ることができる良いタイミングとしてとらえることができ、また教養を得られる。さらに古文漢文の文法の知識は現代語の文法を学ぶときにも応用できるというメリットがあるため。

Discussionを終えての感想：

理系の皆さんにこの質問をすると、古文漢文の入試を廃止すべきという結論が多いのかなと予想していましたが、古文漢文に苦手意識を持ちながらも古文漢文を学ぶことの意義があると考えていらっしゃる人が多いということが分かり、興味深かったです。